

2018年度 第一学院高等学校養父校学校評価

1 教育理念・教育目標・目指す学校像

教育理念	建学の想い	目指す学校像
<p>いちぶんのいち 1 / 1の教育</p> <p>全生徒一律ではなく、一人ひとりの生徒と向き合っ、一人ひとりの生徒の幸福を願って、一人ひとりの生徒を「育む」ことを重視する</p> <p>目標は希望進路実現・定着、目的は“社会で活躍できる人づくり”</p>	<p>Always think positive ! 常に「素直な心」</p> <p>Have your own dream ! 「夢」を意識し、「夢」を持つ</p> <p>Experience a sense of achievement and contribution ! 達成実感・貢献実感</p>	<p>生徒を「プラス思考」にできる「生徒の成長度 No.1」の最高の教育機関を目指す</p> <p>通信・単位制総合学科の特長を最大限に活かし生徒一人ひとりのチャレンジ・再チャレンジを支援し、一人ひとりの希望進路の発見・実現と進路定着支援を行う。</p> <p>また卒業後もキャリアサポートを継続的に行い、社会的自立を促し、社会で活躍（貢献）する生徒を育み、生徒の成長度の違いで社会に貢献し続ける学校。</p>

2 当年度の重点目標

<p>① 独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導(EMS)」の深化（「生徒の成長度 MAP」の本格的全校展開）</p> <p>② 独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の再構築（ボランティア+αによる校・本校の特色作り）</p> <p>③ ICT活用による教科学習の充実（新LMSの導入による更なる学習者主体の学力の向上と定着）</p> <p>④ 上記①～③を推進する教員の成長促進（指導力・人間力向上等）</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

【自己評価】 S：実践できた A：概ね実践できた B：一部実践できなかった C：実践できなかった

評価の観点	評価項目	具体的な取り組み計画・内容	自己評価結果
独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導（EMS）」	・独自の意欲喚起教育（EMS）の考え方に基づく指導実践	・「生徒の成長度MAP」の本格的実践による生徒の成長実感教育の推進が出来ている。 ・意欲喚起特別講座が計画的に実施されている。	A
地域全体を学校と捉えた教育（コミュニティ共育）	・家庭や地域への情報発信 ・地域の方々からの教育支援 ・生徒、保護者の声の実態把握と学校内外からの意見収集及び改善	・学校のホームページや学校通信の発行による学校情報の公開がなされている ・ボランティア活動、ジョブシャドウイング、夢授業の実践がなされている。 ・生徒や保護者へのアンケートを実施や電話やメールなどで連絡を取り合い、実態を把握し対策の考案や実践がなされている。	B
ICT活用による教科学習	・新LMSの導入による更なる学力向上と定着	・ICTの特性を活かしながら教科面の充実を図ることで、生徒が主体的、意欲的に学習に取り組んでいる。	A
生徒指導	・基本的生活習慣の確立 ・予防の観点からの生徒指導構築 ・情報機器の正しい取り扱いとネットモラルの理解	・マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶の指導実践が出来ている。 ・相手の立場に立った行動をする意識の醸成が出来ている。 ・学校いじめ防止基本方針に基づいたいじめが起こらない環境づくりといじめが発覚した際の組織的な対応実践が出来ている。 ・スマートフォンを中心とした情報機器の正しい関わり方やSNS利用などの正しい理解によるネットモラルが向上している。	A
進路指導	・進路指導体制の充実 ・キャリア意識の醸成	・生徒、保護者と三者面談などで意思疎通を図ることでスムーズな進路指導が実践されている。 ・外部講師による進路講演会開催やジョブシャドウイングによる、生徒の職業観、勤労観の高揚を促進している。	A
スクーリングにおける学習指導	・面接指導	・通信制における面接指導の重要性を鑑みた時間数の確保並びに授業実施がなされている。 ・多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導が行われている。 ・教育目標に基づいた計画的且つ継続的な多様なメディアの活用による学習が実践されている。	A
スクーリングにおける学習指導	・添削指導	・生徒の基礎学力向上につながる添削指導の工夫が行われている。 ・生徒の主体的且つ計画的な報告課題（レポート）の作成学習が行われている。	A